

令和元年5月20日
石川県選挙管理委員会
(内線 3548)
(外線 076-225-1282)

新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会は、明るい選挙推進事業の一環として、高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを昨年に引き続き募集します。

応募締め切りは令和元年9月6日(金)、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先（お問い合わせ先）

石川県選挙管理委員会 （076-225-1282）

平成30年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを
メッセージにして、応募しよう！

石川県選挙管理委員会委員長賞

私は今年初めて、学校で行われた模擬投票に参加しました。参加する前は、選挙について詳しく分かりませんでしたが、話を聞いてからは、私たち若い世代の意見も大切なんだと感じました。近年、選挙権が18歳に引き下げられました。もっと多くの高校生が投票に行くよう、18歳になったら自分が行くだけでなく、友達も誘おうと思いました。

石川県立松任高等学校 2年 杉山 果音

石川県明るい選挙推進協議会会長賞

私は来年から選挙権を得ます。投票の仕方は、模擬投票で経験しているのでわかりますが、実際に投票する候補者を選ぶのはまだ経験していないので、不安です。私は、政治に関心があり、だからこそ、真剣に選ぼうと思いますが、詳しくわからないこともあります。だからこそ、同年代の友達と一緒に話し合っ、納得した上で投票をしたいです。

石川県立能登高等学校 2年 屋鋪 麗音

～優秀賞～

選挙権が18歳に引き下げられ、私たちにとって選挙はより身近なものとなりました。日々報道されるニュース、新聞やネットでの情報、それらを何気なく見るのではなく、積極的に目を向けることで今の政治の状況を学んで、自分の意見を持てるようになっていきたいです。そして自分の意見に責任をもち、投票に行きたいと思います。

石川県立小松商業高等学校 2年 上川 紗季

18歳になり、テレビや教科書でしか知らなかった政治に直接関わるようになりました。小さい頃、父や母について行った選挙に、自分も参加すると考えると、少し緊張します。これからの日本に関わる自分の一票を無駄にしないために、政治のことをよく知り、よく学び、意味のある一票にしたいと思います。

石川県立金沢商業高等学校 3年 四月朔日 鼓梅

私は、あと1年で投票ができるようになります。投票率が低下している今、私たちはまず、今の政治がどのようになっているか深く理解する必要があると思います。その上で、自分がこれからの政治を決める1票を持っていることを自覚しなければならないと思います。責任ある1票を投じるために、まずは調べてみることから始めます。

北陸学院高等学校 2年 奥 なゆみ

「雨だから選挙に行かない。」という言葉がSNSで見かけたことがあります。その言葉に、私たち若年層の選挙への関心の低さを改めて感じました。政治は自分達の生活に大きく関わっています。新有権者である私たちが一人でも多く選挙へ行き、若者も選挙に参加する新たなイメージを作っていくことが大切なのではないでしょうか。

星稜高等学校 2年 高木 帆月